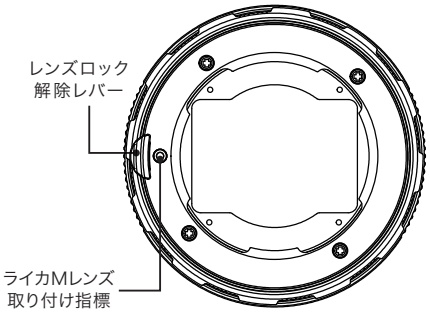
SHOTEN

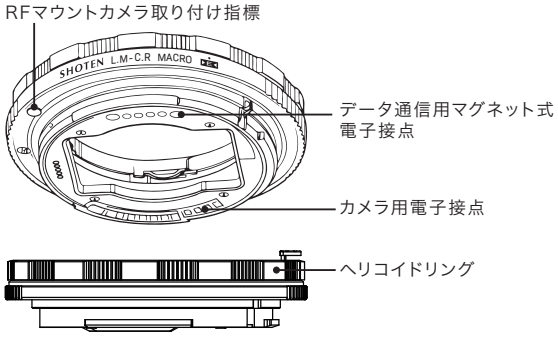
このたびはマウントアダプターをお求めいただき、まことにありがとうございます。本製品を安全にお取り扱い頂くため、ご使用前に取扱説明書をよくお読みになりご使用ください。また、この説明書はお読みになった後、いつでもご覧になれるよう大切に保管して下さい。

LM-CR M E

ライカMマウントレンズをキヤノンRFマウントのミラーレスカメラで使用するためのマウント変換アダプターです。EXIF記録およびフォーカスガイドに対応する電子接点を搭載し、各種情報をカメラ側へ伝達します（オートフォーカスには対応していません）。さらに繰り出し量4mmのヘリコイドにより、レンズの最短撮影距離を短縮。被写体により近づいた撮影が可能になります。

[各部の名称]





【特徴】

■繰り出し量4mmのヘリコイドを装備し、レンズの最短撮影距離を短縮。
■カメラのフォーカスガイドに対応し、正確でより素早いピント合わせをサポート。
■初期登録されたレンズ情報（焦点距離／開放F値）10種を、EXIF情報に記録可能。
■内蔵レンズデータ（レンズ名／焦点距離／開放F値）をPCで編集し、最大10本までレンズ情報を登録可能。
■ヘリコイドの誤操作を防止する無限遠ロック機能を搭載。
■付属のUSBケーブルでPCと接続し、レンズ情報編集およびファームウェアアップデートに対応。

【撮影方法】

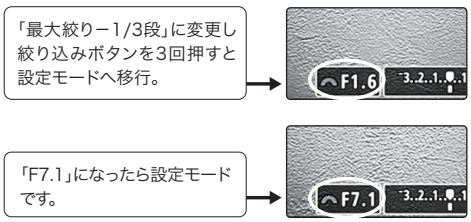
1. 本製品（アダプター）にレンズを装着してカメラに取り付け、電源をONにします。
2. カメラの撮影モードはA（Av：絞り優先）またはM（マニュアル）に設定してください。
3. 撮影時のF値（絞り値）表示は、必ず「**最大絞り**（**開放**）」に設定してください。
   [例：開放F値がF1.4の場合 → **F1.4**に設定]

【EXIFレンズデータの切り替え】（内蔵の初期レンズデータ10種から選択して記録）

ボディ内手ブレ補正機構を適切に動作させ、性能を最大限に発揮するためには、使用するレンズの焦点距離に合わせてレンズデータを設定してください。本設定を行うことで、EXIFデータにレンズの焦点距離／開放F値を正しく記録できます。

① 設定モードに入る

1. カメラに本製品（アダプター）とレンズを装着し、電源をONにします。
2. 撮影モードを A（Av：絞り優先） または M（マニュアル） に設定します。
3. カメラのF値（絞り値）を**「最大絞り-1/3段」**に設定します。
   [例：開放F値F1.4の場合 → **F1.6** に設定]
4. 絞り込みボタン（被写界深度プレビュー）を3回押します。表示が「F7.1」になれば、設定モードへの移行は完了です。
   ※表示が変化しない場合は、同じ操作を繰り返し、F7.1になるまで行ってください。



※絞り込みボタンが無い機種について（EOS R／EOS RPなど）
カメラのボタンカスタマイズで、任意のボタンに「絞り込み（被写界深度プレビュー）」を割り当ててください。設定方法は、カメラの取扱説明書またはメーカーWebサイトをご確認ください。

② レンズ情報を切り替える（付表のF値で選択）

1. 設定モード（表示がF7.1）になったら、カメラのダイヤルを回し記録したいレンズデータに対応するF値を選択します。
   （「初期レンズデータ一覧（付表）」参照）
2. 絞り込みボタンを押して、電源をOFFにします。
3. カメラの電源をONにして、設定完了です。
4. 撮影前に、カメラのF値（絞り値）を必ず**最大絞り**（**開放**）に設定してください。[例：開放F値 F1.4の場合 → **F1.4**に設定]

【初期レンズデータ一覧(付表)】

EXIFに記録するレンズ情報(レンズ名、焦点距離、開放F値)を切り替えることができます。

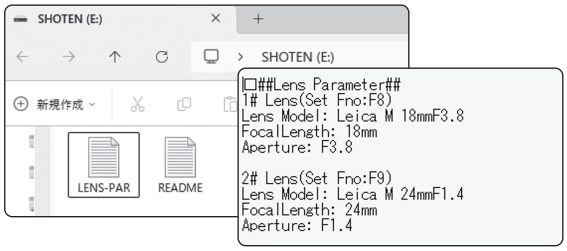
F値	レンズ名(焦点距離 / 開放F値)
F8	Leica M 18mm F3.8(18mm / F3.8)
F9	Leica M 24mm F1.4(24mm / F1.4)
F10	Leica M 35mm F1.4(35mm / F1.4)
F11	Leica M 50mm F1.4(50mm / F1.4)
F13	Leica M 75mm F2.0(75mm / F2.0)
F14	Leica M 90mm F2.0(90mm / F2.0)
F16	Leica M 135mm F2.0(135mm / F2.0)
F18	Leica M 200mm F2.8(200mm / F2.8)
F20	Leica M 300mm F2.8(300mm / F2.8)
F22	Leica M 28-70mm F3.5-4.5(50mm / F4.0)

設定例:Leica M 50mm F1.4の場合

1. 電源をONにし、カメラのF値を「最大絞り-1/3段(例:F1.6)」に設定します。
2. 絞り込みボタンを3回押します。
   →カメラのF値が「F7.1」になれば、設定モードです。
3. カメラ側の絞り値を「F11」に設定します。
4. 絞り込みボタンを押して、電源をOFFにします。
5. 電源をONにします。
6. カメラ側の絞り値を最大絞り(F1.4)に設定し、撮影を行います。

【レンズデータのカスタム方法】

本製品に内蔵されているレンズデータ(最大10本)をカスタムすることで、任意のレンズ名/焦点距離/開放F値をEXIF情報に記録できます。



① PC接続とファイル確認

1. 付属のUSBケーブルで、本製品(アダプター)をPCに接続します。
2. PC上に「SHOTEN」ドライブが表示されます。
3. ドライブ内の以下ファイルを確認してください。
   - README.TXT(アダプター情報)
   - LENS-PAR.TXT(レンズパラメータ)

② 編集手順(※初回編集時は安全のため、LENS-PAR.TXTをPCへコピーしてバックアップを取ることを推奨します。)

1. LENS-PAR.TXT を開き、内容を編集します。
2. 編集後、上書き保存します。

※入力できる文字は 英数字のみです。
※macOSをご使用の場合、標準のテキスト編集アプリでは正常に保存できないことがあります。
サードパーティ製のテキストエディタ(TXT編集ソフト)を使用して編集・保存してください 。

※編集時の注意点(重要)

[開放F値が1.0未満のレンズを登録する場合(例:f/0.95)**]**

開放F値(Aperture)は、**F1.0以上**の値で登録することを推奨します。F1.0未満で登録すると、設定モードへ移行できなくなる場合があります。

50mm f/0.95 を登録する場合
- Lens Model(レンズ名):50mm f/0.95
- FocalLength(焦点距離):50mm
- Aperture(開放F値):F1.0

[登録値と表示が異なる場合について]

システムの仕様により、登録した開放F値と撮影時の表示が異なる場合があります。

Aperture(開放F値)に F3.8 を登録した場合
撮影時の表示:F3.5

使用上のご注意 ⚠

- 本アダプターはMF(マニュアルフォーカス)専用です。AF(オートフォーカス)には対応しておりません。
- 沈胴タイプのレンズをご使用の際は、カメラに装着したまま沈胴させないでください。Mマウントレンズの装着につきましては、お客さまによる最終的ご判断をお願いいたします。
- アダプターの取り付け・取り外しは、カメラ本体の電源を「OFF」にしてから行ってください。
- 本製品をカメラに装着している時は カメラの電源がオフであっても常にカメラ本体のバッテリーを消耗する場合があります。撮影時以外は(保管、長時間の持ち運びなど)本製品をカメラ本体から取り外すことをおすすめいたします。
- すべての撮影機能、およびすべての対応機材が使用できることを保証するものではございません。
- レンズの個体差、経年変化や損傷による形状の変化等により装着感(固い、緩い、若干のあそび等)が通常と異なる場合があります。
- 電子接点は汚さないようご注意ください。目視できない僅かな汚れでも動作不良の原因となります。
- 高温になる場所に置かないでください。極端に温度が高い環境では、機材が故障したり変形するおそれがあります。
- マウントアダプターを水にぬらすと、部品がサビつくなどして故障の原因になりますのでご注意ください。

株式会社焦点工房|SHOTEN(ショウテン)
〒464-0032 愛知県名古屋市千種区猫洞通1丁目5-3 TEL:052-778-7975 FAX:052-778-7976 https://www.stkb.co.jp